ケアが希望になる政治へ

日本共産党 衆議院東京12区　田原 聖子通信

No.008　2025年2月号

発行・日本共産党衆議院東京12区
田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
☎5939-6581 FAX5939-6582

力あわせて国民要求の実現を



田原聖子の 活動日誌



学生・若者に「#アカハタカフェ」への参加を呼びかける宣伝行動（1月11日）



厚生労働省から、介護保険についてのヒアリング（1月23日）



東京都教育委員会に特別支援学校の充実を求める要請（2024年12月19日）

【おすすめの一冊】

若者とともに社会変えよう

わたしたちの世界を変える方法 アクティビズム入門

中村 眞大［編著］

「『それ、おかしくない?』と思ったら… 10代による、10代のための社会運動のはじめ方」の紹介コピーに興味をもちました。

ある日、渋谷でパレスチナの人々のためのデモに出くわした著者は、「社会を変えるため、声を上げることをもっと当たり前にしたい!」と思いを募らせ、同世代による同世代ための新しい本づくりに奔走。「私たちの地球って大丈夫?」「安心して暮らせる国にするには?」「性の不平等をなくすには?」と続き、グローバル化や校則、若者の貧困にまで目が向けられていきます。

読み始めて注目したのは、なぜ行動したのかでした。「グレタさんの活動をテレビのニュースで見て、気候変動の原因に迫る何かが必要だと思った」、「長崎に生まれ、毎年8月9日は平和教育を受けた」など、どの若者も明確に語ります。

校則問題で自由や人権を求め、困難な中でもがんばる姿は心を打ちました。なかでも、「校則によって全員に同じ見た目や行動を求めることは、異質なものを排除する意識を作り出し、差別やいじめを助長する。…周りとは違う自分はダメ人間だと自己肯定感を下げ…社会に従順な歯車が完成する」という意見は、支配階級が闊歩する政治が延々と続く社会への叫びに聞こえます。

誰もが自分らしく幸せに生きていく政治を、彼らの声と一緒に作りたいと、思いを強めています。

ご相談はお気軽に

お困りごと、ご相談があれば、田原聖子・せいの恵子事務所まで、お気軽にご連絡下さい。

TOKYO 12 HAUS

日本共産党田原聖子（国政）
せいの恵子（都政）事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
電話 03-5939-6581
FAX 03-5939-6582

やるねー♪ 結ちゃん

ダウン症の子とともに、尊厳が尊重される社会をめざして

結ちゃんがタブレットで動画を見る距離が近くなっているのが心配になって、2年半ぶりに大学病院の眼科へ。女性の医師が、大人と同じ「C」の文字盤を準備します。私は少し小さい声で「初めてです」と言いましたが、「やってみましょう」ときっぱり。「穴が開いているのはここだね。空いているところを指で教えてね」と説明を受けて、視力検査がスタート。「これはどっちかな」と呼びかけられると、上、左と人差し指をささやくように示します。医師は笑顔で「おねーさんだね! おねーさんになったね」とほめ、念のため、今まで使ってきた黒い動物の絵でも検査しました。終了後、「できたね」と声をかけると、結ちゃんは、「やるねー! おねーさんだね!!」とニッコリ。

週3日朝宣伝のお母さんは「起きたらいない」と思っていると気にしていたのですが、ものともせずに成長しているのでした。



お魚かな? 視力検査に挑戦中